

2025年2月吉日

一橋大学 課外活動団体 御中

一橋大学学部協議会

会長 田中徳力

会計 上藤誠人

自治団体連合費に関して

1_はじめに

自治団体連合とは、学部協議会、一橋祭運営委員会、KODAIRA 祭実行委員会、新入生歓迎委員会、体育会総務、文化団体連合、一橋新聞部の7団体より構成されています。これらの団体はどれも学生全体にとって有益な活動を行い、学生から活動資金を集めることで成り立っています。この活動資金が「自治団体連合費(以下自団連費)」であり、毎年新入生全員から4年分を一括して納入していただくようお願いしております。

しかし、コロナ禍などの影響により自団連費の納入率は年々下降の一途をたどり、自治団体の予算が大幅に減少しました。さらに、自団連費の繰越金も昨年度まででほぼ使い切られてしまっております。このままでは、今年度の水準配分が続いてしまう可能性が高いです。この自団連費の納入率の低下や配分は自分とは無関係だと思っていられちゃう方も多いと思います。しかし自団連費は体育会総務や文化団体連合にも配分されており、皆様の団体の活動に必要な資金がここから提供されています。また、皆様が参加する KODAIRA 祭や一橋祭、皆様が目にする学内新聞、皆様が新歓活動を行う場を整える新入生歓迎委員会、これらすべて自団連費があってこそその活動です。

自団連費納入率の増加は自団連に所属している団体の予算の増加に直結し、最終的に全学生に還元されるのです。

2_今年度の学部協議会の方針

以前から学部協議会は自団連費納入率のさらなる向上を目指し、尽力してきました。具体的にはサークル紹介や入学式、クラスオリエンテーション、新歓合宿などでの納入の働きかけをより積極的に行い、自団連費を納入してもらった新入生を名簿化しました。この名簿と各団体の皆様が学生支援課に提出している「課外活動団体届」を照らし合わせて、各団体の構成員がどれだけ自団連費を納入しているかを確認し、順次自団連費の配分に反映させました。

しかし、近年は広報を十分に行えなかったという経緯もあり、自団連費に納入率が非常に落ち込んでいます。我々学部協議会にとって、ほぼ全新生から自団連費を受け取り、学内で活動する全団体に自団連費を分配し還元するといった本来あるべき仕組みの実現が

長期目標です。そのためにまず納入率向上を短期目標とし、積極的に自団連費の納入の働きかけを行っています。

3_各団体の皆様にお願ひしたいこと

上記で述べましたように、納入率の低下は皆様のこれからの活動に影響を与えることとなります。今までは「払わなかった新生が新歓する立場になり、次の新生に払わなくていいとネガティブキャンペーンをする」という悪循環に悩まされていましたが、近年それもいくらか軽減されたように思います。そこで、皆様にお願ひしたい点が2点あります。

- ① 新生に対する自団連費納入の呼び掛けへのご協力
- ② 自団連費納入に対するネガティブキャンペーンの自粛

納入率の落ち込みに加え、繰越金も減少しており、このまま行くと来年度以降も以前の水準の配分額を確保できない可能性が高いです。納入率のアップには、我々学部協議会だけでなく、課外活動団体の皆様のご協力が必要だと考えております。つきましては、この二点を踏まえて積極的な新歓を行なっていただくよう、ご協力のほどお願ひ申し上げます。

【本件に関する連絡先】
一橋大学学部協議会
1122044y@g.hit-u.ac.jp